

異文化コミュニケーション学部教育課程編成の方針

教育課程の編成と特色

異文化コミュニケーション学部

異文化コミュニケーション学科の教育課程は、学士課程における修業年限4年間で「導入期」「形成期」「完成期」の3期に区分し編成している。各期のねらいは以下のとおりである。

- ・導入期は、「学びの精神」、「学びの技法」、言語教育科目、学科での学びの多様性や興味深さに触れるための入門科目、4年間の学びを自らがデザインする機会となる「College Life Planning A, B」などで構成し、大学で学ぶために必要なアカデミック・スキルを身に付けるとともに、学科での学びの体系について理解を深める。なお、NEXUS プログラムでは、標準 0.5 年間〔1学期間〕の日本語集中履修期間を設け、言語 A および言語 B における日本語、ならびに平易な日本語を用いて実施する「学びの精神」の履修をとおして、学ぶための姿勢と基礎的な知識・技法を身に付ける。
- ・形成期は、学科で展開する「言語研究」「コミュニケーション研究」「通訳翻訳研究」「グローバル研究」の基礎となる科目群、「海外留学研修」、「留学、学びのデザイン、キャリア」、「キャリア形成実習」、「インターンシップ」、「多彩な学び」「スポーツ科目」などで構成し、学科での学びの基礎や幅広い教養を身に付けるとともに、体験を通して実践的に学ぶことを通して、自らが深めていく方向性を定める。
- ・完成期は、「専門演習」、「卒業研究」、学科の専門科目などで構成し、導入期、形成期での学びを通して自らが選択した学問領域についての知識を深めながら、1つのテーマについて自律的に学ぶことを通して成果物を完成させる。

異文化コミュニケーション学部 (Dual Language Pathway)

異文化コミュニケーション学科の Dual Language Pathway は、英語で専門科目を履修することによって、英語をツールとして活用しながらこれからのグローバル社会、多文化共生社会の中で活躍できる人材を育成することを目指す。

Dual Language Pathway の教育課程は、学士課程における修業年限4年間で「導入期」「形成期」「完成期」の3期に区分し編成している。各期のねらいは以下のとおりである。

- ・導入期は、学部専門科目を英語で履修していく際に必要となるアカデミック・スキルを中心に学ぶ「Academic Skills（学びの技法）」、言語教育科目、学科での学びの多様性や興味深さに触れるための入門科目、4年間の学びを自らがデザインする機会となる「College Life Planning（学びの精神）」などで構成し、大学で学ぶために必要なアカデミック・スキルを身に付けるとともに、学科での学びの体系について理解を深める。
- ・形成期は、学科で展開する「言語研究」「コミュニケーション研究」「通訳翻訳研究」「グローバ

ル研究」の基礎となる科目群、「Overseas Study Program」、「Overseas Field Studies」、「Study Abroad, Study Planning, and Career Development」、「Service Learning」、「Career Development Practicum」、「Internship」、「多彩な学び」、「スポーツ科目」などで構成し、学科での学びの基礎や幅広い教養を身に付けるとともに、体験を通して実践的に学ぶことを通して、自らが深めていく方向性を定める。

- ・完成期は、「Advanced Seminar」、「Senior Research and Thesis」、学科の専門科目などで構成し、導入期、形成期での学びを通して自らが選択した学問領域についての知識を深めながら、1つのテーマについて自律的に学ぶことを通して成果物を完成させる。

異文化コミュニケーション学部 (Intercultural Communication for Global Leadership)

異文化コミュニケーション学科の Intercultural Communication for Global Leadership (以下、ICGL) は、英語で専門科目を履修することによって、英語をツールとして活用しながらこれからのグローバル社会、多文化共生社会の中で活躍できる人材を育成することを目指す。

ICGL の教育課程は、学士課程における修業年限4年間で「導入期」「形成期」「完成期」の3期に区分し編成している。各期のねらいは以下のとおりである。

- ・導入期は、学部専門科目を英語で履修していく際に必要となるアカデミック・スキルを中心に学ぶ「Academic Skills (学びの技法)」、言語教育科目(日本語)、学科での学びの多様性や興味深さに触れるための入門科目、4年間の学びを自らがデザインする機会となる「College Life Planning (学びの精神)」などで構成し、大学で学ぶために必要なアカデミック・スキルを身に付けるとともに、学科での学びの体系について理解を深める。
- ・形成期は、学科で展開する「言語研究」「コミュニケーション研究」「通訳翻訳研究」「グローバル研究」の基礎となる科目群、「Overseas Field Studies」、「Study Abroad, Study Planning, and Career Development」、「Service Learning C」、「多彩な学び」、「スポーツ科目」などで構成し、学科での学びの基礎や幅広い教養を身につけるとともに、体験を通して実践的に学ぶことを通して、自らが深めていく方向性を定める。
- ・完成期は、「Advanced Seminar」、「Senior Research and Thesis」、「Senior Project」、学科の専門科目などで構成し、導入期、形成期での学びを通して自らが選択した学問領域についての知識を深めながら、1つのテーマについて自律的に学ぶことを通して成果物を完成させる。